

金失

金岡

衆新

目録

(15)

非鉄

三芳合金工業

新検査場を今夏建設

スペース増やし生産効率化

銅合金の鑄造品・鍛造品などを製造する三

芳合金工業(本社・埼玉

県三芳町、社長・萩

野源次郎氏)は202

4年夏ごろをめぐりに、

新たな検査場を建設す

る。増えたスペースを

利用して生産工程のレ

イアウトを見直し、製

造の全体的な効率化を

推し進めることなどが

狙い。合わせて新たな

検査機の導入も進める

方針だ。出荷準備のた

めの倉庫としても用い

る計画となっている。

建屋面積は約240平

方分で、投資金額は数

千万円となる見通し。

萩野社長は「生産工

程の整流化のための投

資として実施する」と

話している。生産工程

のレイアウトを見直す

ことにより、工場内で

の搬送の無駄をなくす

などして効率化を進め

ていく方針。生産効率

を高めることにより、

納期対応力の向上やコ

スト低減につなげたい

考えだ。

新たな検査場には画

像検査機を導入する計

画。設備導入で省人化

を図ることにより、生

産数量が増えた際にも

残業時間を抑制。「働

き方の改革につなげた

い(萩野社長)とい

う。さらに品質をより

安定化させる効果も見

込まれる。建屋はテン

ト構造のものを建設す

る計画。現在までにす

でに工事を始めてい

る。